

図書館だより

No.11

令和6年3月
大洲中学校図書館

もうすぐ卒業式



あっという間にもう3月。今年度も残り僅かです。13日に行われる卒業式で3年生とはお別れですが、3年生にとっては「新しい人生の門出」でもあり、心からお祝い申し上げます。これからの人生が明るく楽しい日々であることをお祈り致します。また、4月から新2年生、新3年生となる在校生みなさんは勉強や部活など、学校生活がますます充実することを願っています。



『本屋大賞 2024』大賞候補 10 作品 出揃う

全国 530 の書店の店員 736 人の投票で選ばれる本屋大賞。一次投票で 10 作品が選出され、2 月末日まで行われる二次投票でいよいよ大賞が決定します。では、大賞候補 10 作品を発表致します。

・『黄色い家』川上未映子^{かわかみ み え こ} ・『君が手にするはずだった黄金について』小川哲^{おがわ さ と し}

・『水車小屋のネネ』津村記久子^{つむら き く こ} ・『スピノザの診察室』夏川草介^{なつかわ そう す け} ・『存在のすべてを』塩田武士^{しおた た け し}

・『成瀬は天下を取りにいく』宮島未奈^{みやしま み な} ・『放課後ミステリクラブ』知念実希人^{ちねん み き と}

・『星を編む』凧良ゆう^{あ な ぎ ら} ・『リカバリー・カバヒコ』青山美智子^{あおやま み ち こ} ・『レーエンデ国物語』多崎礼^{た さ き れ い}

*(作品名五十音順)

今回も、過去に大賞を受賞した作家や何回も最終選考に残ったことのある作家の作品が大賞候補としてノミネートしており、かなりの激戦となる可能性があり結果の発表がとても楽しみです。

ちなみに『君が手にするはずだった黄金について』の小川哲さんは一回、『黄色い家』の川上未映子さん、『スピノザの診察室』の夏川草介さん、『存在のすべてを』の塩田武士さん二回、『星を編む』の凧良ゆうさん、『リカバリー・カバヒコ』の青山美智子さんは三回、『放課後ミステリクラブ』の知念実希人さんは四回と 10 人の大賞候補者のうちなんと 7 人が過去に最終選考まで勝ち残っています。

この中で一番の注目は、『星を編む』の凧良ゆうさんと『放課後ミステリクラブ』の知念実希人さんではないでしょうか。凧良ゆうさんの『星を編む』は、昨年度大賞を受賞した『^{なんじ} 汝、星のごとく』の続編で、前作で語りきれなかった愛の物語です。もし大賞受賞となった場合は前人未到の三回受賞となります。

また『放課後ミステリクラブ』の知念実希人さんは過去四回のランキングがすべて8位で、そろそろ上位を目指したい心境なのではないでしょうか。過去 11 回の選考に今回を入れて5回もランクインしていることは実に素晴らしいことだと思います。

他にも『成瀬は天下をとりにいく』と『リカバリー・カバヒコ』は大洲図書館にも配架されており、大洲中での人気度は高い作品です。

みなさん、4月10日の大賞発表を楽しみにして下さいね。

『大洲中図書館大賞』

*大洲中図書館における年間貸出数ランキング Best5の発表です。(3月1日時点の数値)

- 第一位 ストロベリームーン ^{あくとかがわ} 芥川なお 著 16回
第二位 汝、星のごとく ^{なぎら} 凧良ゆう 著 15回
第三位 腹を割ったら血が出るだけさ ^{すみの} 住野よる 著 14回
第四位 5秒後に意外な結末[パンドラの赤い箱] ^{ももと} 桃戸ハル 著 12回
第五位 5秒後に意外な結末[ミノタウロスの青い迷宮] ^{めいきゆう} 桃戸ハル 著 11回
// また、同じ夢を見ていた 住野よる 著 11回

『大洲中 本をよく読んでいる人大賞』

*大洲中の生徒さんの年間読書数ランキング Best5の発表です。(3月1日時点の数値)

【 一年生 】

- 第一位 1年1組女子 205冊
第二位 1年1組女子 109冊
第三位 1年3組女子 68冊
第四位 1年2組女子 48冊
第五位 1年3組女子 43冊

【 二年生 】

- 第一位 2年3組女子 69冊
第二位 2年2組女子 39冊
第三位 2年3組女子 33冊
第四位 2年1組女子 20冊
第五位 2年4組男子 14冊

【 三年生 】

- 第一位 3年3組女子 76冊
第二位 3年5組女子 54冊
第三位 3年5組女子 34冊
第四位 3年5組女子 26冊
第五位 3年3組女子 24冊

【 総合 】

- 第一位 1年1組女子 205冊
第二位 1年1組女子 109冊
第三位 3年3組女子 76冊
第四位 2年3組女子 69冊
第五位 1年3組女子 68冊

今年もたくさんの本を読んでくれてありがとうございます。昨年度の貸出総数と今年度のものを比較したら、なんと今年度は昨年度の 1.6 倍の貸出数となりました。以前から申しておりますが、読書は読んだ数が重要なのではなく、読んだ本からどれだけの知識、発想力、想像力や語彙力(さまざまな言葉の意味を理解し、必要に応じて適切に使いこなす能力)を身につけることができたかが大切なことだと思います。これからのみんなの人生が、本を読むことで少しでも豊かなものになってくれることを願っています。

一年間、大洲中図書館に親しんでくれて、ほんとにありがとうございました。